

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人子ども NPO センター福岡

1 事業の成果

- ・子どもにやさしいまちづくりネットワーク事業では、「こまちネットチーム会議」を中心に、「子どもとともに」「参加者のエンパワメント」「新たなつながりを」「SDGs と子どもの権利」を軸とした事業の展開を検討した。コロナ禍の影響もあり、「こまちひろば」や「市民フォーラム」の参加者は例年より少なかったものの、子どもの直接的な参加が、おとな側の視点や行動変化につながる可能性が見えたことが今期の収穫となった。
- ・里親養育支援共働事業では、コロナ禍で里親カレッジなど主要な事業が実施できない状況が続いたが、実行委員会やフォーラムなどのイベントをオンラインで取り組む等、工夫をして取り組んだ。また、コロナ禍での困難に直面する社会的養護現場を支援する「ネクストダイアログ・プロジェクト」が、これまでの社会的養護現場とのネットワークの中で立ち上がり、クラウドファンディングと2つの助成金（J-coin 基金、休眠預金活用基金）を元手として活動した。里親委託率は 52.65%(2021年3月1日現在)となった。
- ・子どもの居場所づくり事業では、「若者ふらっとホームサポート事業」において、拠点が不安定なことや利用者の減少への対策、スタッフの資質向上などの改善点を見つけ福岡市とも協議し、来期の計画へとつなげた。九電みらい財団助成「子どもが輝きを取り戻す居場所づくり事業」では、今期児童養護施設の地域交流スペースを借りて、社会的養護児童を含む子どもたちと一緒に、ドラマワークの実践を行った。
- ・子どもアドボカシー事業では、トヨタ財団助成事業が2年間の助成のクロージングを迎え、来期からの2つの大きな動きの基盤としての役割を果たした。また、厚生労働省のモデル事業として三菱 UFJ リサーチ&コンサルティングと行った訪問アドボカシー事業では、一時保護所を含む様々な現場の子どもたちの声を聴くことができ、多くの収穫があった。
- ・子ども・NPO調査研究・子ども白書事業では、ふくおか子ども白書 2021 の発行に向け、編纂作業が大詰めの年度末となった。これまでよりデザイン性を高め、また kindle での電子書籍販売を行うことで、より多くの人に手に取ってもらえる白書になっている。今回法人主体では初の試みとして、子ども白書発行のための資金調達をクラウドファンディングで実施し、337名の方から 2,785,000 円の支援があった。
- ・広報・情報提供事業は、HPを、Facebook や子どもにやさしいまちづくりネットワークのメールマガジンと連動させ、効果的な情報発信に取り組み、子ども白書などのテーマには多くの反響があった。子ども NPO ジャーナル「子どもにやさしいまちづくり」を3回発行した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の 金額(千円)
第5条(1) 子どもに関わる課題に取り組む団体・個人のネットワークの構築と協働事業	こまちひろばの開催	令和2年 7月～ 令和2年 3月	福岡市 NPO・ボランティア交流センター、オンライン等	9名	市民 延べ154人	104
第5条(2) 子どもの権利条約の推進事業	第19回市民フォーラム「子どもにやさしいまちづくり」の開催	令和2年 12月5日	福岡市立早良市民センター	10名	市民75名	180
第5条(2) 子どもの権利条約の推進事業	・子どもアドボカシーに関する連続講座の開催 ・子どもアドボカシーシステム研究会の開催	令和2年 6月～ 令和3年 3月	福岡市内公共施設、オンライン等	23名	市民 延べ341名	6,005
第5条(3) 子どもに関わる活動の推進事業						
第5条(3) 子どもに関わる活動の推進事業	子どもの自己表現力を培うドラマワーク	令和2年 9月～12 月	福岡子供の家 地域交流スペース等	3名	社会的養護の子どもを中心に小・中学生 延べ150名	492
	・社会的養護の現場のコロナ対策支援、オンライン対話支援	令和2年 5月～令 和3年3 月	法人事務所等	4名	児童福祉施設、里親、里子 延べ85か所	3,533
第5条(5) 子どもに関わる活動推進のための行政・企業との協働事業	「子どもの権利ノート」改定に関する会議	令和2年 7月～令 和3年3 月	法人事務所、福岡市内公共施設等	11名	市民延べ54名	532
	社会的養護の子どもたちの意見の聴き取り・発信	令和2年 10月～令 和3年3 月	児童養護施設、一時保護所等	13名	社会的養護の子ども 延べ58名	550

	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い市民と関係機関で実行委員会を構成 ・里親制度普及のためのフォーラムや講座の開催 ・里親の交流の場となる里親 CAFE の開催 ・里子、実親の交流支援 ・福岡市里親会への支援 	令和 2 年 4 月～ 令和 3 年 3 月	福岡市公共施設、オンライン等	40 名	市民・里親・里子延べ 390 名	5,706
	若者の居場所づくりとして、中高生の居場所「フリースペースていへんず」の管理運営	令和 2 年 4 月～ 令和 3 年 3 月	福岡市南区保健福祉センター等	17 名	中高生・若者延べ 170 名	1,809
	子どもの居場所づくりに関わる人材養成講座の開催	令和 2 年 11 月 7 日	福岡市立早良市民センター	11 名	市民 53 名	321
第 5 条 (6) 子どもと N P O の状況に関する調査研究と社会的提言事業	ふくおか子ども白書の編纂・発行	<2018 号> 平成 30 年 1 月発行 <2021 号> 令和 3 年 3 月	法人事務所、オンライン等	13 名	市民	2,412
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態把握のための研究会開催 ・子どもの実態調査・分析の実施 	令和 2 年 4 月～ 令和 3 年 3 月	法人事務所、オンライン等	10 名	市民	20
第 5 条 (7) 子どもと N P O に関わる情報提供事業	ウェブサイト・子ども N P O ジャーナルを通しての情報発信	令和 2 年 4 月～ 令和 3 年 3 月	法人事務所	6 名	市民	201